

令和4年度 法人全体 事業報告書

1. 令和4年度総括

令和2年(2020)1月から日本で始まった新型コロナの流行は2022年年末にかけ落ち着きを見せてきて、ようやく人も動くようになってきました。そんな中でこころも少しずつコロナ前の状態に戻ってきており、ようやくくぐり抜けられるのかという期待を持っています。いつも変わらず地域の皆様には多くの場面でご協力をいただき心より感謝申し上げます。今後ともよろしく願いいたします。

2. 主な取組み事項及び状況（結果）

取組み事項 ①売り上げ向上

令和4年度重点目標	取組み状況（結果）
<ul style="list-style-type: none">・ コロナ禍にあってもそれぞれの特徴を活かして発想を豊かに持ち、そのことを実現するための具体的な目標を立てて、実践、実行していける組織体としたい。	<ul style="list-style-type: none">・ 部署ごとに差はあるもののコロナ前に比べると60%~80%戻りつつあり、増収になっている部署もある。・ カフェ部門は原材料の値上げが続いているので11月より一部メニューの変更と料金の値上げをした。・ 地域貢献の一環としてcafé&lunch こころ内にてオレンジカフェ「いっぷくしてきねの」を開催するようになった。・ 福井県セルフ協、鯖江市の「さばえおいしい応援団」など各販売イベントに参加する。・ 産直協議会、Poca Poccaの地域のイベントに積極的に参加した。・ ハピライン開業1年前ということで、助成金をいただいて「えきライブラリーtetote」にてキャンペーンイベントを3月に開催した。その折鯖江高校と1年間交流をしてきた最後のイベントとして「しいたけえき(椎茸ケーキ)」を作ってお客様に提供した。

取組み事項 ②コスト確認・管理

令和4年度重点目標	取組み状況（結果）
<ul style="list-style-type: none"> ・無駄がないか、工夫できないか職員一人一人が日ごろの業務を確認しながら常に意識していけるようにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食材だけではなく、あらゆるものが値上げになっている状況なので、現場ではどうしても必要なものかを考えて購入、また日々使用するものを最小限に抑えるよう努力した。

取組み事項 ③zoom 会議による情報共有

令和4年度重点目標	取組み状況（結果）
<ul style="list-style-type: none"> ・各部署のマネージャー、サブマネージャーや職員が一堂に会しての会議は業務上困難な状況であったが県の補助もありパソコンも整備され zoom での会議がより可能になった。各部署の現状、問題点あるいは周知徹底しなければならないことをこの会議で検討周知し情報の共有化を図りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・zoom 環境が整えられ、なかなか時間が合わずできなかった会議も職員も慣れてきて開催できるようになり、情報の共有化が図れた。 ・研修も zoom での開催が多く参加しやすくなり、参加の回数も増えた。 ・問題が起こった時、必要時にはタイムリーに話すことができるようになった。

取組み事項 ④クリーニングふわっとの増築と本部移転を目指す

令和4年度重点目標	取組み状況（結果）
<ul style="list-style-type: none"> ・クリーニングふわっと事業は2018年に開始して4年目を迎えた。今後の事業発展のためには作業場を大きくし、新規のお客様を増やすことは不可欠である。また法人本部(ファクトリー、ファームも使用)も老朽化し、移転が必要でその二つの機能を果たせるよう増築したいと考えている。どういう建物にするのかその資金面はどうしていくのかを具体的に検討を始めたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年3月にふわっと西側の土地を地権者の方のご理解、ご協力ももいただき取得をすることができた。今後は建設に向けての業者との話し合い、建設資金についての計画をしていきたい。

令和4年度 café&lunch こころ事業部 事業報告書

1. 令和4年度総括

café&lunch こころでは、引き続きのコロナ禍での影響があったこと、ベテラン利用者さんの退職・異動・新規利用と、厳しい状況の中ではあったが、それぞれができることを確認しながら少しずつでも成長できるように皆で助け合っていたことは、価値のある1年であったと思います。

2. 主な取組み事項及び状況（結果）

取組み事項①「こころファームで収穫した野菜を無駄なく使い、安心安全なヘルシーランチを提供します。」

令和4年度重点目標	取組み状況（結果）
こころファームや地元の食材を使い、旬の味わいを生かしたヘルシーランチを提供します。地域の食文化を継承していきたい。	ファームとの連絡を密にして、作付けの段階でほしい食材を作ってもらい、収穫時期には使用する分を伝えて小刻みに収穫してもらうことで、無駄なく使用できた。 県の「ふくい100彩ごはん」の認定を受けて県内外のお客様に野菜たっぷりのヘルシーランチを提供した。

取組み事項②「障がいのあるなしに関わらず、ともに助け合い互いに高めあい育ちあえる職場づくりを目指します。」

令和4年度重点目標	取組み状況（結果）
ひとりひとりが仕事に対しての目標を持ち、日々スキルアップしていける環境づくりを心がける。利用者さんに適した仕事を把握して、時間や作業内容を適宜個別に支援していく。	ミーティングの中で問題点や解決案を話し合い、仕事の内容や手順を丁寧に支援していくことが出来た。

取組み事項③「コロナ禍でも地域との交流を行います。県内で活躍している方や団体の作品展などを応援していきます。」

令和4年度重点目標	取組み状況（結果）
<p>地域の学生が企画した福祉関係事業の協力をしていく。店内のギャラリーで作品展を行い、地域の方々との交流の場となるよう応援していきます。</p>	<p>11月から、オレンジカフェ（認知症カフェ）を月1回開催し、地域の高齢の方について学び交流をすることができた。鯖江高校の学校祭でスイーツの販売を通して、高校生との交流を行った。高校生カフェでは、オレンジカフェの日に高校生考案のパウンドケーキ（椎茸入り）を販売し、地域の方々との交流を深めることができた。越前市にある福祉事業所の利用者さんの作品展を行い、多くの方々にご来店いただき温かい応援をいただくことができた。</p>

令和4年度 tetote 事業部 事業報告書

1. 令和4年度総括

コロナ禍でまだ不安定な社会状況であったが、当店利用のお客様の増加はスタッフ一同地道に努力し、それを応援して下さる地域の方々に支えられた結果だと感じている。また、鯖江市でのイベントやサンドームコンサートの再開により、月単位の売り上げが着実に増加している。来春にはJR鯖江駅も第三セクター化することを見据え、事前に行われた鯖江高校との協同イベントでは、講演会や蕎麦半額キャンペーンを行い、学生の方々にも tetote の良さをアピールできたのではないかと思う。

また物価の高騰に伴い11月にメニュー価格の見直し、メニュー表のリニューアルを行った。

2. 主な取組み事項及び状況（結果）

取組み事項①「メニューの品質向上、売り上げにつながるための情報発信とお客様に対するサービスの徹底」

令和4年度重点目標	取組み状況（結果）
スイーツ類の充実と蕎麦等フードメニューのPRを徹底し、蕎麦に関しては誰が調理しても一定の味になるようにマニュアルを作る。	スイーツの製造及び盛り付けに関しては、前年に比べ技術面での向上が見られる。そばの調理に関しては調理器具(100v電磁調理器使用等)に見合う“ゆで方”等で、まだ課題があると考え。この課題解決と合わせてマニュアル化を現在進めている。

取組み事項②「お客様とのふれあいと、スタッフそれぞれの【らしさ】が活きる接客」

令和4年度重点目標	取組み状況（結果）
スタッフそれぞれの個性を重視し、それぞれのもてなし方でお客様に接客サービスを行う。	スタッフの努力の甲斐あって、接客においては大きな問題は発生しなかった。より元気でより丁寧な接客に関しては、今後お客様のご評価にも耳を傾けていきたい。常連様とのやり取りを聞いているととても微笑ましい。

取組み事項③「コンサート日のシフト調整とスタッフの健康管理」

令和4年度重点目標	取組み状況（結果）
コンサート当日のシフトの組み方を見直し、スタッフの負担にならないよう時間を振り分ける。	昨年に入ってからサンドームコンサートがおよそ月一であり、それによる集客も軒並み増えてきている。休憩が取れないときは後日振替で早く帰っていただくことで調整を図った。緊急時には他部署の職員にお願いして対応した。

令和4年度 ファーム事業部 事業報告書

1. 令和4年度総括

4月に第2農園を地元の営農組合に戻し、第1農園のみでの野菜作りとなった。畑が1つになったことで少ない人数でも畑全体をしっかりと管理することができた。その反面、まだ土づくりが不十分なため（土が固い、場所によって土の成分が違う等）第1農園での栽培に適している野菜を見極めることが難しかった。またファーム事業の主な収入源となっている原木椎茸の生産量増加を図っていたが、椎茸の成長期でもある10、11月時期の降雨量が例年より少なかったため発芽量が減り、昨年度より収穫量が減少した。

2. 主な取組み事項及び状況（結果）

取組み事項①「就労支援事業収益(売上)1,500,000円を目指します。」

令和4年度重点目標	取組み状況（結果）
原木椎茸の生産量を増やすことを第一目標とする。また価格の高い「香福茸」についても量が少しでも多く確保できるよう、見逃しなく袋掛けを行っていく。昨年度できた乾燥椎茸においても途切れることなくスーパー等への納品が行えるよう管理する。	生椎茸の販売は新しい個人の顧客増加やスーパー等に途切れることなく納品を行うことが出来、最盛期においても無駄なく収穫したものを販売することができた。また乾燥椎茸においては新しいイベントへの出店参加により販売出来る場所が増え、売上目標だった150万円を達成することが出来た。

取組み事項②「カフェ部門に野菜の提供を無駄なく行います。」

令和4年度重点目標	取組み状況（結果）
第1農園のみでの野菜作りは初めてになるのでまず何の野菜が第1農園に適しているのかを経験を通して知っていく。その上でカフェが必要とする野菜はもちろんのこと、季節の野菜や早いサイクルで収穫できる野菜などを考えランチの食材として提供する。また、蕎麦に使用する大根、ねぎ等の作付けも行い、両カフェに提供できるようにする。	第1農園のみでの野菜の作付けは初めてであったため、玉葱が二畝病気で廃棄処分となってしまった。それ以外はミニトマト、ナス、ピーマン、じゃがいも、南瓜、里芋、大根、ねぎ、瓜、青シソ、とうもろこし、レタス、ラディッシュ、小松菜、法蓮草などの季節野菜を作付けし、ランチの食材として供給することが出来た。

取組み事項③「利用者スタッフが働き甲斐を感じられるような職場づくりに努めます。」

令和4年度重点目標	取組み状況（結果）
<p>一人ひとりとの信頼関係を大切にし、毎日休まずファームに来るのが楽しみになるような職場環境を目指す。自分たちで作り、育て、それを調理し、お客様に食べて頂くということの喜び、また誰かに育てたものを買って頂けるとい喜びも感じてもらえるようにカフェこことの連携、販売との連携も利用者スタッフの方に知ってもらえる環境を作る。</p>	<p>利用者の方は病欠や家事都合で有給休暇を取得したが、それ以外は休むことなく出勤し、良い職場環境になりつつある。またカフェとも連携をとり野菜を無駄なく提供できるようになったことにより自分たちが作った野菜を無駄にすることなく、お客様に食べていただく事への喜びも感じる環境が出来つつある。</p>

令和4年度 クリーニングふわっと事業部 事業報告書

1. 令和4年度総括

長引く新型コロナの影響が続く中、クリーニング事業部においてはその影響ほとんど受けることなく継続して事業を行ってきたが、初めて、取引先施設の現場職員の不足による洗濯物の減少という形で、売上が減少する事態となった。そのような中でも各職員スタッフのがんばりによって、昨年並みの事業収益をあげることができ、みなさんの成長を強く実感できた1年となった。

2. 主な取組み事項及び状況（結果）

取組み事項①「利用者の方一人一人の力に合わせた支援を行い、技術の向上、作業範囲の拡大を目指す。」

令和4年度重点目標	取組み状況（結果）
利用者の方一人一人が今できることのレベルアップ、またできる作業を増やしていく。	現在定められている作業工程の見直し、行われている各工程が本当に必要か、煩雑になっていないか等の検討を行い、仕事のシンプル化を進めた。これによって、利用者の方ができる仕事の幅を増やすことができた。

取組み事項②「経費増加に対抗するためのコスト管理」

令和4年度重点目標	取組み状況（結果）
材料費、光熱費等が過去にない値上がりを見せる中、クリーニングサービスの質をさげることなく、また職場環境の改善も目標に、諸経費の削減を計る。	低圧電力の契約の見直し、また熱効率のよい新型の乾燥機の導入等によって、各光熱費を20%から最大80%下げることが出来た。

取組み事項③「事業収益向上のための営業活動」

令和4年度重点目標	取組み状況（結果）
事業所本部移転に伴い、クリーニング事業の規模拡大を目指し、新規顧客獲得の営業活動に力を入れる。また既存の顧客の売上増加も合わせて行っていく。	新規の顧客の獲得には至らなかったが、既存の各取引先の洗濯サービス利用者の増加や、取扱品目の増加により、新型コロナによる売上の減少を抑えることができた。

令和4年度 クリエイト（蕎麦）事業部 事業報告書

1. 令和4年度総括

社会状況は低迷しているものの、昨年よりは人の動きが緩和されそれに伴い蕎麦の受注量も少しずつ増えていった。とはいえまだ全盛期には至らず残念ではあるが、それによって空いた時間を利用して1.5キロ打ちにも挑戦し、短時間でより効果的に蕎麦を打てるようになった。現在は1キロ、1.2キロ、1.5キロ打ちが可能となった。たまに1キロ打ちの蕎麦玉を捏ねていると物足りなさを感じるようになった。

2. 主な取組み事項及び状況（結果）

取組み事項①「蕎麦打ちの楽しさ、奥深さを学び取る」

令和4年度重点目標	取組み状況（結果）
それぞれが原点に還って、蕎麦打ちの楽しさ、奥深さを学び取る。	お互いの技術の良いところを取り入れたり、YouTubeなどで蕎麦打ちを研究したり、楽しみながら蕎麦打ちをすることが出来た。

取組み事項②「技術面だけではなくメンタル面も鍛えて、誇り高い蕎麦打ち人となる」

令和4年度重点目標	取組み状況（結果）
蕎麦を通じて心技体を鍛え、自分に自信をもって作業が出来るように意識を高める。	通年蕎麦事業部はお互い綱渡りの状態を何年も続けて心身の状態が安定しなかったが、近年特に令和4年度は助けの手を最小限に、お互いが作業を補い合えた。